



第19号

発行所
東北地区屋外広告美術業組合連合会
情報文化委員会
事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
TEL 022-257-0437



変化は好機

東北地区屋外広告美術業組合連合会 会長 増田 隆

米国のサブプライムローンの破綻問題から端を発した世界同時株安、投機による原油高と穀物などの資源の高騰、そして米国経済の失速懸念など、今年度の景気もけつして楽観を許さない状況だと思われませんが、一方、今年は米国の大統領選挙の年でもあり、それなりの財政措置が期待できる事、またアジア経済、とくに中国経済はまだまだ過熱がみでオリンピックまでは続くと思われること、石油に代わるエネルギーの開発が急ピッチで進んでいるように科学技術の発達に期待が持てる事等、些かですが期待をもてる感じもいたします。

電通による二〇〇七年の調査、日本の広告費の分析によると、われわれの屋外広告に関して、全体の広告費に占める割合は四・六％で、前年より〇・二％ほど増えてはいるものの、広告費全体の伸び率から見ると下げ止まりつつも減少傾向にあると思われまます。この事は国民全体の都市景観、自然景観への関心が高まり無秩序な屋外広告に対する批判が多くなってきたこと、また衛星メディアやインターネット等の従来には希少であった媒体が広く一般的に認知されてきて、相対的に屋外広告の媒体価値が下がってきた事などが考えられます。

一方、そのような景観への関心をもとに、最近ではパブリックファアーニチャーを広告媒体として扱う事で世界各国に展開している〇〇Hの会社が日本へも進出し、首都圏や地方の政令都市ではデザイン性の高いバスシエルター内に掲出されたナショナルブランドの広告も散見されるようになってきました。この業界もいよいよグローバル化が進んできたようです。

また今回の条例改正による業者登録数をみても、異業種の方が多数登録されているところもあり、大手の印刷業者、建設土木、環境関連業など広告と屋外に関連する多種の業種が登録し、これからも引続きこの業界への参入が増える事が予想されます。

このような環境下、今年十二月からは公益法人制度改革三法の完全実施にはいり、五年間の猶予期間内に、日広連も新しい制度下の公益法人としての組織に改める必要があります。地区連としてもこのような改革を見守りながら、日広連と各単組はもとより東北地区単組間の情報を緊密に繋ぐ調整役としての地区連の役割を果たしていきたいと思じます。

最後に、発行回数も、紙面も少ない東北地区連の機関紙ですが、毎年、情報文化委員会の皆様のご努力により、読んでみると、「うーん、なかなか!」「さすが!」と思わせる記事が多く我々業界のレベルの高さを感じられます。皆様に読んでいただけるようにと工夫を凝らして作られているのがよく解ります。委員会より皆様への投稿の依頼などがございましたら、進んでご協力を頂きますようお願い申し上げます。

尚、今年新しい日広連への契機となる創立五十周年の年にあたります。六月に開催される記念式典には皆様のご参加を心よりお願い申し上げます。



塗料 & 看板諸材料

酒田商工株式会社

本社	山形県酒田市堤町2-1
〒998-0835	電話 (0234) 26-2255(代)
	FAX (0234) 26-2762
大宮営業所	山形県酒田市大宮町2-1-17
〒998-0824	電話 (0234) 22-8341
	FAX (0234) 22-8341
山形営業所	山形県山形市樋越62-1
〒990-0815	電話 (023) 684-0808
	FAX (023) 684-1235

- 看板材料販売
 - ・屋内外シート
 - ・各種樹脂板
 - ・アルミ複合板
 - ・FF用電照式フレーム
 - ・溶剤、水性メディア
- 加工サービス
 - ・大判インクジェット出力
 - ・5M幅ターポリン出力
 - ・FFシート出力
 - ・のぼり ・懸垂幕
 - ・シルクスクリーン製作、印刷

各県発送承ります

お気軽にご相談下さい

株式会社 クラフト

山形市東原町二丁目20-16
[TEL] (023) 632-2435 [FAX] (023) 632-2438
[E-mail] shop@craft-art.co.jp
[HP] http://www.craft-art.co.jp

第30回 東北6県公共キャンペーン作品展



(福島市あづま総合運動公園内 あづま総合体育館での展示風景)

第三十回東北六県公共キャンペーン作品審査講評

審査委員長 福島学院大学教授 藤 由 暁 男 先生

一、作品全体について
素晴らしい作品が多く選考に苦慮した。今年度のテーマ「景観・環境、その他公共性のあるもの」に基づき審査したが、作品の選考基準として三つの要素を考慮した。
①、伝達内容は明確であるか、②、表現のアイデアに鮮度はあるか、③、表現テクニックの完成度は。

ほとんどの作品はこれらを十分満たしていた。日頃の研鑽による新しい表現も見られた。一方で、残念ながら文字が過剰に配されたもの、デザインが優先して目的が不透明になった作品などが一部見受けられた。広告の目的は、充実した生活への提案であり、具体的に生活の中で機能することである。

全体の印象としては、広範囲なマーケットに確実性を期して訴えていくという目的が最新のテクノロジーによるものや、旧来の手技で描かれたものなど、さすがと思わせる各県の代表作品であった。

二、国土交通大臣賞(受賞作品: No.14・地球環境 宮広美 榎オウチ工芸)
現在の環境問題を明確にした優れた作品である。生態系が崩れ、森林破壊から海洋汚染まで自然破壊が続く現在。あと三十年で北極の水が消滅するのではないかと叫ばれる地球温暖化の状況を、可愛いシロクマとペンギンで構成し、色彩もメリハリがあり、コピーも明快である。ただし、左上のデータ部分が無い方がより良かったとの意見もあった。

三、(株)全日本屋外広告業団体連合会会長賞
(受賞作品: No.16・SOS 山広美 有マルケイ工芸社)
アイキャッチの素晴らしい作品に仕上がっていた。コピーはストレートで携帯社会の怖さが十分伝わってくる。理論が人間の知性に訴える手段ならば、広告の演出は感性に訴える伝達手段と言える。構成も素晴らしい。迫力ある力マキリの前足が不気味だ。

四、東北地区屋外広告業組合連合会会長賞
(受賞作品: No.18・気づいてください 山広美 ハタナカ宣伝企画)
広告は人の心を掴んでこそ価値があるのであって、一部の人が支持するだけでは広告とは言えない。この作品の訴えは今被害を受けているといったセグメントされた人々のみならず、全ての人の心の叫びを伝えている。多くの学校で、職場で、最近では相撲の社会でさえも、説得力があり、引きつけられる作品に仕上がっていた。



国土交通大臣賞
「地球環境」 宮城県(株)オウチ工芸



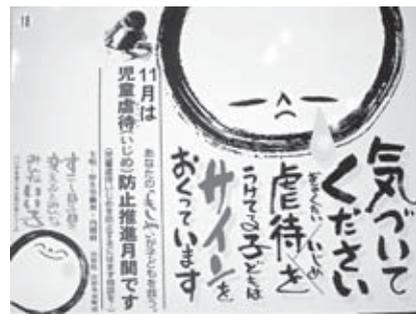
日広連賞
「SOS」 山形県(有)マルケイ工芸社



優秀賞
「自然保護」 秋田県 石松看板工房



優秀賞
「NO! IDLING NO!(環境保全)」 青森県(株)ニッタ美術工芸



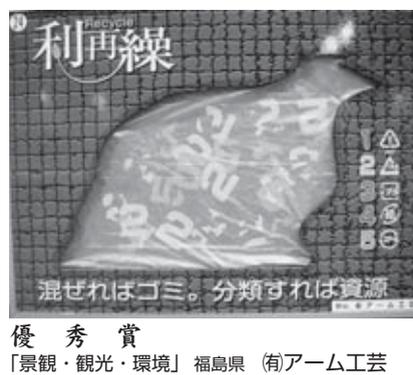
東北地区連会長賞
「気づいてください」 山形県 ハタナカ宣伝企画



日広連賞
「SOS」 山形県(有)マルケイ工芸社



優秀賞
「景観・観光・環境」 福島県(有)アーム工芸



優秀賞
「フリースタイルスキー世界選手権大会」 福島県(株)アルス・プログレス



優秀賞
「フリースタイルスキー世界選手権大会」 福島県(株)アルス・プログレス



優秀賞
「フリースタイルスキー世界選手権大会」 福島県 二海堂看板店

日広連印キャラコ (綿100%)

塗料のノビがよく、染みがない看板製作に最適なキャラコです。

品名	巾 × 長さ
日広連印A キャラコ	92cm × 115m 乱
日広連印B キャラコ	92cm × 115m 乱
日広連印C 天竺	115cm × 115m 乱
日広連印D 天竺	137cm × 115m 乱

カットイングキャラコ (綿100%) (樹脂コーティング)

マーキングフィルムの貼付はもちろん、水性/油性塗料での手書き・印刷ができます。裏面には撥水処理を施してあるので汚れにくく屋外でもご使用頂けます。

品名	巾 × 長さ
カットイングキャラコ A	92cm × 55m 乱巻
カットイングキャラコ D	137cm × 55m 乱巻

ストロングクロス (ポリエステル100%)

水性/油性塗料、スクリーン印刷、マーキングフィルムの貼付にご使用頂ける高級懸垂幕素材です。

従来の綿カツラギと比べ強度も強く、屋内・外でご使用頂けます。

品名	巾 × 長さ
ストロングクロス E100	100cm × 25/50m巻
ストロングクロス E130	130cm × 25/50m巻

インクジェットパーパークロス (ポリエステル100%)

インク吸収紙が余分なインクを吸い取り、生地裏まで滲まずに文字や絵が通るので、幟やタペストリーに最適な素材です。

水性(顔料・染料)インクに対応しています。

品名	巾 × 長さ
インクジェットパーパークロス	127cm × 30m巻(2インチ紙管)

ご注文は所属の各組合へお願いします

青森県屋外広告美術業協同組合 TEL 017-734-7302 FAX 017-734-7303
 宮城県屋外広告美術業協同組合 TEL 022-257-0437 FAX 022-299-5433
 山形県屋外広告美術業協同組合 TEL 023-615-3120 FAX 023-615-3125

岩手県屋外広告美術業協同組合 TEL 019-645-3140 FAX 019-643-8909
 秋田県屋外広告美術業協同組合 TEL 018-823-8458 FAX 018-823-8460
 福島県屋外広告美術業協同組合 TEL 024-524-0937 FAX 024-524-0938

糊なし天竺やカツラギなどの各種綿織物もカラーバリエーション豊富に取り揃えています
サンプルブックもご用意しております

商品についてのお問い合わせは **株式会社 サンビッグ**

☎ 597-0061 大阪府貝塚市浦田179番地
TEL. 072-433-1199 FAX. 072-433-3222

青 森 県



生き残るには自身が進化するしかない

青森県屋外広告美術業協同組合 理事長 葛西 憲次

最近、時代の進化が早すぎて、ついていけないなあと思うのは私だけでしょうか？

パソコンをはじめ、携帯電話、出力機などの扱い方を必死の思いで覚えても、すぐまた新しい機種が出てくる。一年も経たない内に進化しているのです。ずっと変わらないうるものはないと思えますが、あまりにも早すぎます。

また、我々の業界も、ものすごいスピードで変化しております。筆書き時代からカッティン グマシンへ、そして出力機へ。ネオンからLEDへ。その他、強度計算や屋外広告物条例等の各申請手続関係、各資格関係、そして不燃物やECC対応等、製作以外のノウハウと手間が必ず以上に多くなっております。

しかし、その変化に対応できなければ生き残る事が出来ないのです。今までは時代のせいにしてきたり、政治のせい、不運のせい、他人のせいにしてきたような事が多かった気がします。この時代の変化に自分もそれ以上に進化する事が今一番必要であり、変化すればする程、必ずそこに新しいビジネスチャンスが生まれ、又自分自身を進化させる事により、会社も進化し、社員も変化に対し敏感に感じる事が出来るように

なるはずですが。

随分と偉そうに言ってきましたが、私自身も全て世の中のせいにしてきた代表的な人間だと思っております。ですが、今年も少しでも自分のせいだ、と思える人間になって、少しでも進化したいと考えます。

さて、地域格差が拡大している中で特に東北では観光産業の占める割合はかなり大きくなっていると思われまます。修学旅行やJ.Aの団体旅行の時代が終わり、小グループでの旅行、また韓国、中国、台湾からの観光客が増えている中で、リピーターになつてもらう為には、やはり

地元の受入態勢と市民のおもてなしの心が必要だと思えます。その市民意識高揚の為に、現在弘前観光コンベンション協会では「津軽ひろさき検定」と称して、市民に対し津軽の見聞を広めてもらうための検定をテスト形式で開催する事になりました。全国でも事例がたくさんありますが、一、二〇〇名の応募があり、大変驚いております。二〇一〇年には青森市まで新幹線が開通する事もあり、かなり観光都市としての意識が高まった感じがあります。

そんな中で、我々業界もかなりお手伝いが出来る気がします。お手伝いというよりも大きなビジネスチャンスが生まれると考えられます。

例えば、市でも県でも民間でも、観光客にやさしい看板が必要になってくるはずですが、意匠や色、デザインはもちろんですが、英語、韓国語、中国語などの看板も必要ですし、周りの環境に合った案内板、点字サイン等もそうです。企画提案を積極的に繰り返しながら、組合全体で取り組んでいく姿勢をつくりあげることが出来ます。

もっと大きく言えば、地域全体が束になって都会に挑戦する気概を持ちながら、観光でもビジネスでも押し進める事により、地域格差も縮まっていくと思えます。

そして最後には、やはり地域住民一人一人が進化しなければなりません。

進化しなければなりません。



TOTAL MATERIAL FOR SIGN & DISPLAY



素材販売 企画・設計 制作 施工

PACK CALTEX letax SODEM MBA ALL STAR

— 資材企画開発・販売 —

サイングラフィックツールやセールスプロモーションツールを中心に多様化するニーズに対応すべくお客様のニーズをもとにディスプレイ資材、イベント・インテリア資材など商空間を演出するオリジナル資材の企画開発及び販売に力を注ぎ込んでおります。また製造メーカーとタイアップしたOEM商品の扱いと代理店業務や商社業務も行ってあります。

— 速配体制 —

バック・キヌガワグループはオリジナル商品以外にも各種メーカー代理店業務など商社機能も兼ね備えた企業です。近況のスピードニーズに対応できるよう、よりお客様に近い位置で迅速な納品体制の構築を心がけております。これからは全国各地に拠点をおいて地域密着型店舗を確立して「すぐほしい」のニーズに対応した「速配」をモットーに受注体制を築いて参ります。

- ◆商空間資材開発・販売 ◆商空間企画・設計・施工 ◆サイン・グラフィック資材開発・販売 ◆インテリア資材開発・販売 ◆セールスプロモーションツール開発・販売 など

TOTAL DISPLAY 株式会社 パック Home Page/ http://www.kinugawa.com/pack E-mail/ info@pack-display.com

- 本社(江東店) 〒136-0073 東京都江東区北砂1-4-19 ☎03-5690-3611 〆0120-03-3711
- 板橋店 〒174-0037 東京都板橋区小茂根3-6-23 ☎03-3973-3301 〆0120-89-3321
- 城南店 〒143-0024 東京都大田区中央8-28-8 ☎03-5747-6310 〆0120-57-3690
- スペースディレクション事業部 〒124-0022 東京都葛飾区奥戸6-14-10 ☎03-5654-1251 〆03-5654-1250

TOTAL DISPLAY 株式会社 キヌガワ 大阪・京都・名古屋・神戸・岡山・広島・高松・福岡

桜井株式会社

仙台支店 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1 TEL(022)237-1820 FAX(022)237-1823 http://www.sakurai.co.jp

株式会社スター商事

青森営業所 〒030-0955 青森市駒込桐之沢22-3 TEL(017)743-4841 FAX(017)743-4844

仙台営業所 〒983-0043 仙台市宮城野区萩野町1-19-1 TEL(022)237-1831 FAX(022)237-4844

- マーキングフィルム Viewcal900・880・560シリーズ HiLucky・NEWLuckyColorSheet
- インクジェットメディア SGJET・LSJET・LLJET
- ラミネートフィルム LAGプロテクト・LAGマウント
- オリジナル壁紙 WALJET(F☆☆☆☆等級大臣認定番号取得)
- 高輝度LED Bandilight F-LED(完全防水タイプ)
- プリント&カットソフト スターシリーズシステム・カルカット
- インクジェットプリンター&カッティングプロッタ

秋 田 県



秋田県屋外広告美術協同組合 専務理事 片村 正 浩 カタタムラ 看板店

今、ハマっている事

私は、今年で四十八歳の年男です。家族は妻、子供は女二人、男二人、おばあちゃんの七人家族です。今はまだ、子供たちが中心でいつも朝からてんやわんやしています。私の趣味のひとつに、小学校からいまだに続けている「水泳」があります。小・中・高校・

社会人前半は、選手として、今は、競技役員として。昨年秋田県では、国民体育大会がありました。泳ぎました。大会新記録は、三十余り出ました。そして大会最終日の最後のレースで「日本新記録！」も出ました。とても感動と興奮を味わった大会でした。

私の子供たちにも、勿論「水泳」をクラブ活動でさせました。泳ぐことが楽しいことは当然ですが、水の事故だけにには遭って欲しくないようにと思っ

ていました。女の子二人は、成人しましたので、今はそれぞれ他県の学校に行ってますが、帰って来ると地域にある温泉の温水プールに行ってます。また、一番下の男の子は小学四年生ですが、幼稚園から水泳のクラブに行っています。楽しく元気が一番なんです



が、はたして?????????。実は、今ハマっている事とは、もう一人の男の子。高校三年生になります。もちろん、水泳もやらせました。いいところまで行ったんですが、うちの妻が大の野球ファンで、この子には、水泳と並行して小学から野球もさせました。中学校にあがる時迷ったんですが野球を選びました。私としては、個人競技の体験しがなく、団体競技の難しさをはじめて経験しました。優れた選手が一人もいなくても勝ったり、絶対強いところがあったり。二年前、高校入学と同時に硬式野球部に入部。一年生の時、三年生の頑張りで見事「甲子園」に。それから高校野球に妻と二人で完全にハマってしまいました。

自分の学校は勿論、春と夏の甲子園のテレビ中継があれば、いつも見ていますし、聞いています。遠くの(県外も)遠征にもついて行きます。子供は迷惑そうですが……。一年の時には、貧弱だった体も二冬を越した今は、身長も体格も親をこし(腹周りは勝っています)、それらしくなってきました。もうすぐ雪が融けて白球の響く季節がやってきます。遠征も始まります。三年生最後の夏、「夢」を目指して頑張っしてほしいものです。ちなみに、小学生も昨年からスポ少で野球をやり始めました。お父さんは、とっっても迷っています……。

インクジェット用資材からスクリーン資材 POPツール等世界中から最適品直輸入

サイン&ディスプレイ機材・資材販売

設備販売 ・インクジェットプリンタ ・昇華転写システム
・スクリーン印刷機 ・彫刻機 ・周辺機器

資材販売 ・水性、溶剤系インクジェットプリンタ用メディア各種
・マーキングフィルム ・スクリーン印刷用資材
・転写用材料 ・ラミネートフィルム 看板材料全般

出かサービス ・3.3m溶剤プリンタ保有大型屋外広告物
・シルクスクリーン ・昇華転写(のぼり、旗等)
・低価格、高品質、短納期対応

東北ミノグループ株式会社
〒983-0034 宮城県仙台市宮城野区扇町3丁目4-23
TEL:022-238-8995 FAX:022-238-9406
E-mail:e1k@tohoku-mino.com

CUTTING SHEET のサイズが変わります!
カッティングシート

長年ご愛顧頂いているカッティングシートの規格を従来の920mm幅から1010mm幅へ変更することになりました。使用頻度の高いものは2月より、正規切り替えの開始は5月からとさせていただきます。今後とも何卒よろしくお願い致します。

CL寸 920mm幅 x 20m 巻き
↓
F寸 1010mm幅 x 20m 巻き

□ 詳細は下記営業所までお問い合わせください

株式会社 中川ケミカル

本社 〒103-0004 東京都中央区東日本橋2-1-6 TEL.03-5835-0341
大阪営業所 〒550-0012 大阪市西区立売堀5-1-11 TEL.06-6543-2661
札幌営業所 TEL.011-736-4788 FAX.011-736-4767
福岡営業所 TEL.092-431-3013 FAX.06-6543-2664
URL http://www.cs-nakagawa.com

宮 城 県



私の人生

宮城県屋外広告美術協同組合 情報文化委員長 阿部 正一

私は昭和二十五年三月十二日生まれのもうすぐ五十八歳(寅年生まれ)です。私は農家の長男として生まれました。地元の高館小学校、中学校を出、当時は仙台市長町にあった宮城県農業高等学校に入学し農業科一組に入り、勉学では農業を学び、クラブ活動では書道部に入り、三年間、通いました。当時は宮農はスポーツクラブも盛んでしたが文科系も他の学校には引けをとらない程、有名でした。東京都立美術館に何回も表彰状をもらいに行つたことを今でも覚えています。

その後本来であれば農家の長男として家の農業を引き継ぐのが当たり前でしたけれど、私はどうしても農業に対して疑問な点が多く、農業をやるつもりはありませんでした。そこで家の大反対を押し切つて、家を継がず、高校時代アルバイトをした仙台市南材木町の山田看板店に住み込みで働きました。当時は高度経済成長の時代で仕事はたくさんあり、朝から晩まで働きました。給料は月に三千元でした。そのうち千五百円が食費で差し引かれ残りの千五百円で洋服を買い、いろんなものを買いましたがあまりお金がないとは思いませんでした。なぜなら、当時見習いで入つたので仕事を覚える方が先で、他にお金はあまり必要なかったのではないかと思います。その後、親戚の今野与一郎おじさんから紹介してもらつて仙台市御町自動車団地内の川名工芸株式会社に入社し、私は現宮城トヨタ自動車本社の自動車レタリング部に配属され

ました。当時レタリング部門は六名位いたと思います。何しろ毎日毎日車が入つてきて、仕事を消化するのに大変でした。私は一番下で見習的な存在だったので朝は早く出社し夜は一番最後で後片付けをしたり、掃除をしたりの日々でした。そのうち、同僚の社員が私を除いて全員やめてしまいました。残されたのは私一人で、仕事を消化するのも大変でした。

なぜならば、会社の方針は店舗内外装の仕事が中心で、私たちの部門はあまり重要視されていませんでしたから。それでも私は一人で弟や知り合いを頼んで頑張りました。そのうち給料が皆の倍位もらえるようになりました。私は別に会社に何の要求もしなかったのですが、他に誰もその仕事をする人がいないという事で会社側は見てくれたのだと思います。

そのうち、給料計算方式ではなく、半分独立した様な形で売上の歩合制になり、手取りが月五十万位になったことも多々ありました。そこで私は将来独立をしたいと思つていましたのであまり贅沢はせずに預金にまわしていました。ただ、車が好きだったのでそれから、カリナーのハードトップを買いました。当時はセリカと共にトヨタの車としては格好が良かったので、気分上々で乗りまわしていたことを思い出します。その後、会社側といろいろと問題が起こり、私が何回も会社側に意見を言つて改善をお願いしたので会社がの方針と違う部分でもあったせいかあまり問題にされず、結局私はトヨタ自

動車内の工場をやめました。その後独立の準備をしながらアルバイトをやり、いろいろありましたが今野大先輩が仕事をやっていた会社の仕事をもらうことになりました。その後、先輩はその仕事をやらなくなり直接私に廻つてきました。がしかし、その後数年でその会社は倒産し、その債務が当社には大変な額でした。しかし、私は会社を止めるつもりはまったく無く、今後は直接仕事を頂く営業の仕事にまわりました。それで債務も何年かの内に解消することができました。その後、当社は阿部工芸社として独立しましたが、思いきつてエービー企画に改名しました。当時はバブル期もあいつつて仕事だけは、そこそこあり、消化するのに徹夜したり、朝早く仕事をしたりと大変忙しかつたのを思い出します。その後工場を建て増して現在の姿になっていきます。

私の家は先祖代々地主だった様で、今でもそここの田んぼや畑、山林があります。

話は仕事に戻りますが、現在は仕事のほうも関東から北海道までの広いエリアで仕事をさせていたでいております。そのため、仕事量もありますが、人件費、高速代、その他経費が多くなり掛かり会社としてはなかなか大変です。それでもお客様のいる限り精一杯努力し、お客様のニーズに合うよう今後とも、全社員一丸となり勉強し、世の中の流れに遅れないよう頑張つて行きたいと思つています。私はもうあと二年で六十歳になります。現在は専務(弟)が会社全体を見ているので安心して会社運営ができています。また、息子も今年二十四歳になり、当社の一員として働いています。まだまだ未熟ではございますが、今後とも皆様のご指導ご鞭撻を頂きながら、成長してもらいたいと思つております。今後共よろしくお願い致します。

エックスレンタカー Rent-A-Car

レジャーに、お引越しに、工事作業に至るまで... 車のことならなんでも!!

BOXバンから 10人乗ワゴン

高所作業車 スカイマスター/スーパーテッキ

マイクロバス

エックスレンタリース北都株式会社
本社・六丁の目営業所 TEL 022-288-3711

福島営業所 TEL 024-545-7755	会津営業所 TEL 0242-33-3711
郡山営業所 TEL 024-935-3711	米沢営業所 TEL 0238-23-4711
いわき営業所 TEL 0246-25-5333	山形営業所 TEL 023-624-0151

看板資材 卸販売
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

東北藤光 株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46
TEL (022) 254-0611
FAX (022) 254-0608

山形県



「昔、今、未来の自分へ」
山形県屋外広告美術協同組合理事 大井 哲(侑大井看板)

私が生まれたのは山形でも山の中、里山などというよりも、まるつきしの山の中です。(よく看板屋を選んだもんだ。)

そんな山の中ですから看板などはあろう筈もなく、おまけに高校は農業高校へと進んだので、同級生からは「おまえ、変わった職業になったなあ」と不思議がられたものであります。ただ、マンガ、イラストレーションが大好きだったので、自然とその方向に向かって行ったのは確かかなあ。長男なので農家の後継ぎに思っていた親父にしてみれば、不肖の息子だったのかも……。高校卒業後、一緒に出稼ぎ。(この当時は出稼ぎは当たり前の事で、ちなみに、横浜に行き、土方でした。)

故郷に帰ってから看板屋になりたいんだと言った時、何も言わずに就職先を探してくれて送り出してくれた親父には、今はただ、感謝です。(その次の年に、親父と一緒に出稼ぎに行った飯場の前で交通事故で亡くなったのです。号泣。)

今の仕事を選ぶきっかけになったのは、高校時代の同級生の一言でした。私がポスターを描いたのを見た同級生が「うまいなあ、看板屋にでもなったら」で、あれから四十年余りが過ぎた訳ですが、今でもこの仕事をしている自分にとって、適職だったと思っています。「好きこそ物の上手なれ」であります。山形の師匠の家(かんばんさとう)に住み込みで就職したのですが、山育ちの自分にとってはカルチャー

シヨックと言いますか、新鮮な事ばかりで何をやっても面白く、楽しい日々でした。(山から都会に住んだ喜びが一番だったのかなあ?)物を作る喜びを知ったのもこの時からです。一から自分で作る事、それに色を塗り、文字(看板)を入れて看板に仕上げて完成。そして、取り付け、お客様から「ああ、いいねえ」と言われた時の嬉しさ、この時が一番、「やってて良かった」と思う瞬間です。

ところで、近頃の看板がやけにきれいになってますよね。まず、きれいに文字が入り、写真なども多用してあったり、昔の「看板」のイメージが変わって広告美術という言葉がしっくりくるように思わせるものが多くなりました。なんと時代が変わった事でしょう。私は三年程の練習(修業)を積んだ後、文字が書けるようになってたのですが、今の時代はパソコンを駆使して、「技」の習得もなく、看板を作れるようになった事に少し「やっか味」も加えて、「ずるい」と思ってしまうものです。(自分は書けるまで三年も練習したんだぞーと。)

でも、つくづく思うのはやっぱり体で会得した技は身に付いていると思うのです。先ず、原稿を見ただけで「パツ」とレイアウトとか、文字の大きさとか、色使いとかが浮かんでくるのです。これは、体で覚えた成果かなあと……。パソコン上でしか作れない人が書いた看板は、どこかぎこちない所が見られる場合が多いので

す。それと、近頃の看板は手描きの少ない事です。これも時代の流れと言ってしまうえばそれなのですが、何とも寂しい限りであります。昔はこの看板はこの誰が書いたのとか、あの人の文字は「うまいなあ」とか、近づいていって触ったりしたものでありました。(看板に思わず触ってしまうのは職業病みたいなもので、みんな経験があると思います。)

もちろん、うちの師匠が書いた看板などは直ぐ分かりましたけど。あと何年か過ぎると街中から手描きの看板は全く無くなってしまふのかも知れませんが。手描きの看板を描く人は無形文化財とかになっていたりしてね。

それでもやっぱり、生活をしていくというのは大変な事で、仕事はしなければならぬという現実がありますよね。自分もパソコンは大の苦手なのですが、一念発起、イラストレーターとフォトショップを友達のアドバイスと教えを受けながら必死になって勉強しました。(当時は、カットイングマシンはやっていましたが。)

看板を作るのに、最低限の知識と操作で良いと自分に言い聞かせ、頑張ったものです。(ホント大変でしたヨ。約半年位でどうにか看板に使える程度の技術が身に付いて。それから、ドンドン分かるようになって面白くなりました。)

自分の仕事を手描きからパソコンへと看板の仕上げ形態が変わって、約八年余、時代の流れについていくのが精一杯の自分がある事に気付きながらも、よく覚えたものだと思いをほめてやりたいと思い、技能を出せる場(描くこと)が少なくなつたなあという思いが交錯しています。何にしても時代は過ぎて行きますが、「またそのうちに筆が活かせる時代が来るさ」と楽しみにして、今日もパソコンのキーボードをたたいている自分がそこにいるのです。

Insurance atelier ootomo

AIU保険会社 代理店
株式会社 保険工房オオトモ

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合1丁目13-38-201
TEL : 022(346)6911 FAX : 022(346)6912
HANDY : 090-8783-8034
E-mail : h_k_ootomo@kvd.biglobe.ne.jp

Scotchprint Graphics
Scotchcal Film
Scotch-tint
Scotch-lite
VHB tape
Panagraphics
DI-NOC Film

住友スリーエム株式会社
特約加工代理店

株式会社丸和商会
宇都宮市瑞穂 3-5-14
TEL 028-656-3611

東京・沖縄・高崎・水戸・仙台
郡山・山形・盛岡・秋田・青森



旅の途中

福島県屋外広告美術協同組合情報文化委員長 佐藤 武彦

ここ数年、私は毎年アジアの歴史遺産を訪れている。ちょうど仕事が暇になる五・六月を目安に出かけている。昨年は、ラオス人民民主共和国(以下ラオス)を訪ねました。目的は、町全体が世界遺産に登録された古都ルアンパバーンである。

東南アジア最後の桃源郷と言われているラオス。国土は、日本の本州とほぼ同じだが、人口は日本の五%程の六二〇万人。ラオスの北部山岳地帯の中心に位置し、メコン川とナムカーン川沿いに現在のラオスの礎を築いた「ラーンサーン王国」の都として栄えたのがルアンパバーンだ。この町には大小八十以上もの寺院があり、人々の日常生活の中に信仰が根付いている。早朝道端に膝まずき、通りすぎる僧侶の列に喜捨を与える托鉢の風景が、一九九五年に世界遺産として認められたのである。

一日目。私は、いつもの様にタイ、バンコクに飛び旅のルートを考えた。ラオスの首都ビエンチャンを経由するコース。あるいは、真っ直ぐルアンパバーンに入りビエンチャンに戻るコース。飛行機の便数や距離、ラオス国内の移動を考えルアンパバーンに先に入る事に決め、ついでにまだ見ていないタイ最古の木造建築寺院、ワット・プラタート・ランパーン・ルアンを見学してからラオス入を決め、すぐにチェンマイ行き国内線チケットを購入。バンコク泊。

二日目。早朝、チェンマイに到着後、まずは市内のラオ航空事務所を訪ねる。うまい具合に翌日午後発のルアンパバーン行きの最後の座席を確保。ついでに、ビエンチャン、バンコクまでのチケットもブッキングしほつとす。すぐに近くのホテルを半額まで値切りチェックイン。ようやく落ち着く。シャワーを浴び、現地で旅行会社をしている友人に電話。車をチャーターし、一路タイ北部第二の都市ランパーンに向け出発。途中道路沿いの食堂で遅い昼食を取り二時間後、無事ランパーンに到着。目的のワット・プラタートを見学する。昔、ビルマとの戦場に

建つといわれている。タイ最古の木造建築寺院。金箔が剥げ落ちつつすらと残っているに過ぎないが、往時のきらびやかな姿を思わせてくれる。午後四時半、再びチェンマイに向け出発、ホテルに戻ったのは、午後七時を過ぎておりました。三日目。ゆつくりと目覚め、遅い朝食を取りながらまだ見ぬラオスの古都に思いを馳せる。その後ホテルに隣接するショッピングセンターで、下着Tシャツ・若干のインスタント食品を購入。日本から着てきた古いシャツや下着などを処分。旅支度を整え空港へ。空港にはすでにラオ航空機が待機していた。双発の小型機だ。乗客は四八名で満席。定刻に飛び立った同機は、五十分程のフライトでラオスルアンパバーン空港へ到着。三千年ほど前に、ネパールの空港に降り立った時の雰囲気似ており、思わず「田舎」とつぶやいた。空港ではこの年三月から日本人は二週間までビザ無しで入国できるということ。いち早く入国手続きを終了。まずは町までの足を確保するためタクシーを探そうと外に出る。すると輓付き軽トラのタクシーと外見。後で確かめるとここにはタクシーは無かった。

午後三時。ひとまず町の中心部ブーシーホテルの前まで移動してトゥクトゥクを降りる(五ドル)。早速本日の宿探し開始。町の観光メインロード、シーサワンウォン通り沿いには様々なゲストハウスやミニホテルがあり、ビザ取得不要で浮いた三十ドルがあるため、予定よりランクを上げて宿探し。結局ブーシーホテル近くのアンシェントルワンプラバーン・ホテルに決定。勿論五ドル値切って三十五ドル。部屋は四階、町並みが一望できる。早速シャワーを浴び、近所をぶらり散策。緑が生い茂り町そのものが豊かな自然の中にある。ホテルのすぐ東側には、ラオスにおける仏教芸術の最盛を誇った豪華絢爛なレリーフを持つワット・マイ、かつて王宮だった現在の国立博物館があり感激しきりでありました。

四日目。早朝四時起床、うっすらと空が白みか

けてきた四時半頃ホテルを出て散歩開始。朝もやが立ち込める街中をひたひたと足音を響かせてオレンジ色の集団が行列になってこちらに向かってくる。交差点に差し掛かると右からも、左からも托鉢の行列が近づいてくる。これが世界遺産、いにしへの都ルアンパバーンなのだ。

しかしこの托鉢も一九七五年の社会主義革命によって仏教が否定され、托鉢はもとより、八十を超える寺院やそこで寝食する僧侶そのものの存在価値さえ危うくなった。ところが、時代は一九八〇年代後半からの開放政策、そして一九九五年の世界遺産登録を経て、人々が仏教や寺院への帰依を新たにし、世界の人々がこの小さな山間の町に注目するようになり守られた伝統なのだ。

しばらく進んでいくとあちこちの路地から、托鉢の行列が現れてくる。それに混じって短パンにランニングシャツ姿の男性、首にタオルを掛けて早足で歩いている中年の女性の姿も……。よく観察してみると、なんとジョギングやウォーキングをしているのだと気づく。そういえば昨日も道端で食材を売っていた女性が、穿いていた腰巻のポケットから携帯電話を取り出したのを見た時の驚きに似た感じがした。この国にも着実に近代化がやってきているらしい。

メコン川が左手に見えてきた所にワットシェントーンが姿を現した。世界遺産都市ルアンパバーンのシンボルだ。一五六〇年にセータイラー王によって建立された寺院である。ラオスの寺院の中で最も美しいといわれている。本堂は、優雅にかつ大胆に湾曲した屋根が幾重にも折り重なっているところに特徴があり、これが「ルアンパバーン様式」といわれている。必見は、内外の壁が金の彫刻で、特に背面の壁に装飾された「マイトーン(黄金の木)」。かつてこの場所に立っていた高さ一六〇mの大樹がモチーフらしいが、入館は七時ということ。場所だけ確認し散歩を続ける。午後六時を過ぎると町はすっかり朝日に照らされ爽快だ。こんなに気持ちいい朝は何年ぶりだろう。およそ二時間の散歩で、ほぼ町を一周しホテルへもどる。

朝の散歩を終え、朝食をすませて、いよいよ古都めぐりである。さてこれからどんな景色に、どんなお寺に、どんな仏像に、どんな人に出会えるのだろうか。旅はまだ始まったばかりだ。このつづきは、また機会があったらご紹介致します。

東北エスピー株式会社

営業品目

屋上塔・屋内外サイン等
デザイン・設計・製作施工一式
メンテナンス・媒体調査

■郡山本社
〒963-8061 福島県郡山市富久山町福原字中田34-1
TEL. (024)922-0076 FAX. (024)922-0084
【URL】 <http://www.tohokusp.co.jp/>
【E-mail】 info@tohokusp.co.jp

■東京営業所
〒110-0016 東京都台東区台東3-34-5 鳥田ビル502号室
TEL. (03)5846-7761 FAX. (03)5846-7762

TOHOKU SP. inc.

クオリティをかたちに。

各種看板・屋内外サイン・ネオンサイン・一級建築士事務所

株式会社 / クリエイティブ ダイワ

福島県郡山市田村町金屋字下夕川原6番地 〒963-0725
■TEL (024)944-0088 (代) ■FAX (024)944-0066

親父とシンボルマーク

(有)長沢画房 長澤 章



親父(長澤竹四郎)が亡くなつてから一年が過ぎ遺品を整理していたところ、見覚えのあるマークが出て来まして、さて何のマークだろう?と思い調べてみると、東北地区連の総会で壇上のバックを飾っている東北地区連章でした。(マーク①)

親父の最大の趣味であるシンボルマークの製作について調べて行くと、昭和十三年十八歳の時に北海道の千歳村村章に応募し採用されたのがこの道に入った切っ掛けのようです。残念ながら現在では市に昇格でマークは姿を消してしまいました。応募総数一〇一点、賞金は十円(二等は二円)と聞いています。(マーク②)

その後、親父が三十歳の時、地元銀行の東北銀行より製作依頼を受けて「北と分銅」を宝槌のイメージに図案化と書き印しております。(マーク③)

私は親父がシンボルマークを作っていることを知ったのは、小学生の時でした。学校全員で展示会を見学した時、ポスターなどの中に徳島県の県章があり、作者名が私の名前になっていたからです。始めは同姓同名の人かと思いましたが、後日に話を聞くと親父のペンネームに使用したものでした。親父はよく「作品は自分の子供のようだ」と言っておりました。応募総数一六九三点、現在でも毎年の国体で選手団の先頭に活躍中。(マーク④)

全国に散らばっている親父の採用されたシンボルマークの中での代表作と言えば、徳島県章から八年前の昭和三十三年に採用された「大阪ガス社章」があります。応募総数二万余点の中から幸運を射止めております。私も社会人一年目は大阪勤務でしたので、電柱広告や街中でも良く目にしたマークです。神戸博覧会の時にはパピリオンの形としても活躍いたしました。賞金は十万円で当時一万円札がなく千円札で百枚頂いたと聞いております。(マーク⑤)

翌昭和三十四年、地元では有名な「岩手銀行

社章」が銀行内からの作品と全国のマーク作家十人の二三〇点の中より親父の「岩」を図案化したマークが選ばれました。(マーク⑥)

想えば今日のようにパソコンのない時代ですから、夕食後より書斎に閉じこもり、ケント紙に向かい鳥口と筆で仕上げている姿を良く目にしたものです。小さなスケッチブック帳に五十音で見出しをつけ、常にアイデアがひらめいた時に書き止め、かなりの数の当選予備軍を作っておりました。地道に時間をかけ、コツコツという感じでした。亡くなる一年前は、おからの市町村合併全盛の頃で、毎日夜遅くまで作品製作に務め「メ切に間に合わないよ」と言っていた事を思い出します。今にして見ると、ここで親父の最後の余力を使い果たしてしまったような気がします。

親父はシンボルマークについて「看板の作品はどんどん姿を替えて行けれどシンボルマークは私の分身として末永く生き残っている。とても愛情が湧き、作品に寿命があるとすれば一番長く生かされているのがシンボルマークではないか」と言っておりました。日広連の全国大会で自分の作品と出会えると喜んで参加していた親父の顔が想い出されます。現在確認しているところに入選作一八四点、依頼作七一点、ご苦労様でした。



マーク① 東北地区連章



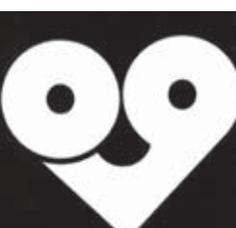
マーク② 千歳村村章



マーク③ 東北銀行章



マーク④ 徳島県章



マーク⑤ 大阪ガス社章



マーク⑥ 徳島県章

日広連・賠償共済のおすすめ

賠償第一共済

多くの皆様にご加入のスタンダードタイプ

賠償第一共済ゴールド

塗装・熔接事故も支払い対象。さらに、作業している壁面、ガラス等も対象。保険金は対人5億円、対物5,000万円。今、おすすめです。

賠償第一共済シルバー

低コストで必要な補償をカバーできる新商品

賠償第二・第三共済

施主の保険＝第二。看板本体の保険＝第三。物件ごとの加入が出来ます。

社団法人全日本屋外広告業団体連合会

引き受け保険会社 東京海上日動火災保険株式会社
代理店・有限会社アールエージェンシー

編集後記

ガソリンの値上げに続き、食品も続々に値上げと今年には値上げラッシュになりそうです。看板代の値上げを検討されている方も多々いらっしゃる事でしょう。

日広連も創立より半世紀という節目を迎えました。記念誌の方も計画され、着々と準備に取りかかっております。後に続かれる方のためにも、日広連の歴史を知ってもらうべく、大切な資料となることでしょう。

情報文化委員長 長澤 章(右)

